

Tec-One Next

テックワンネクストシリーズ

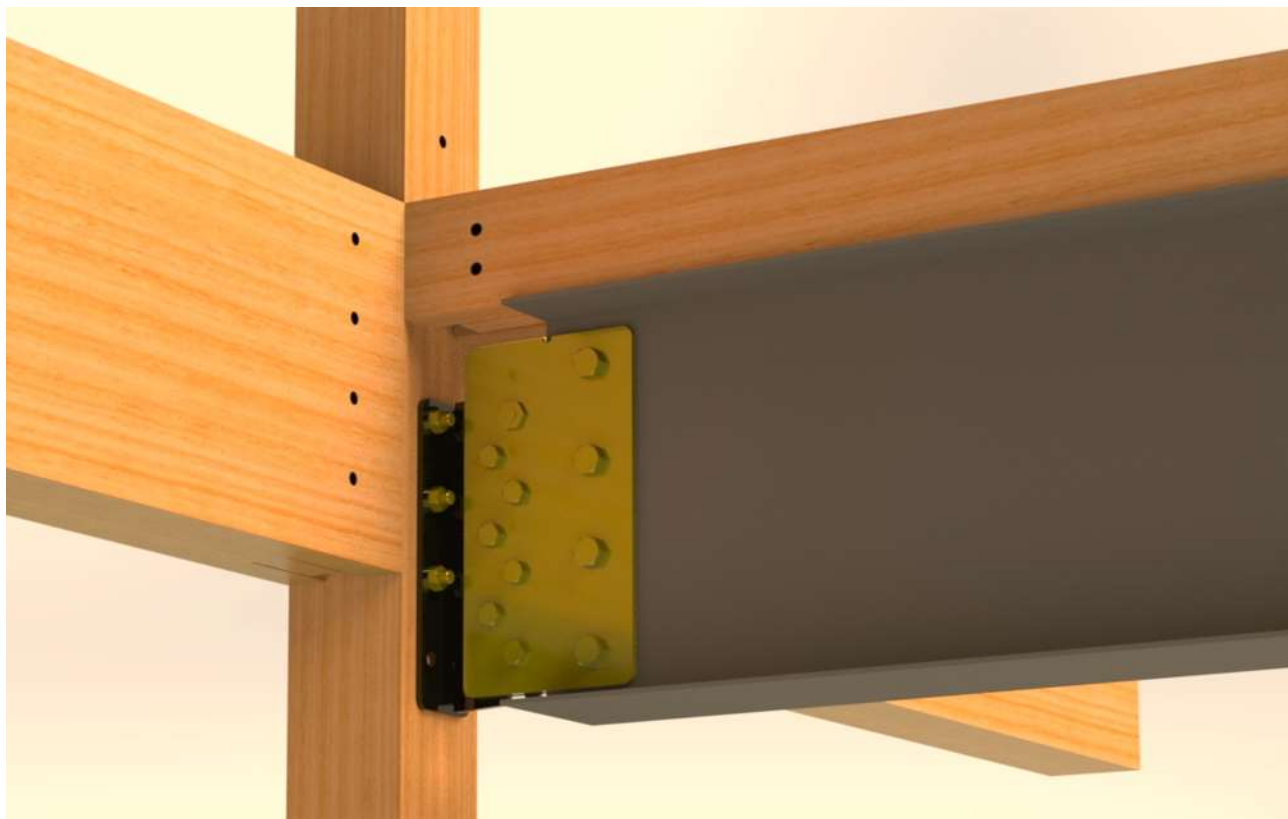
TN-WOLSH Beam

Tec-One Next Wood-Lightweight Steel Hybrid method Beam

 株式会社 **タツミ**

「木軸」 + 「軽量H形鋼梁」 = 「合理化」の提案

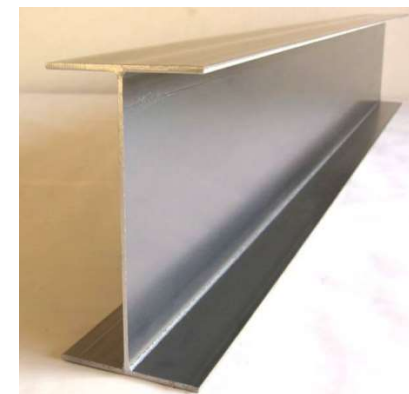
軽量H形鋼を既製品の梁受金物を通じて木材と接合する工法



TN高耐力梁受金物

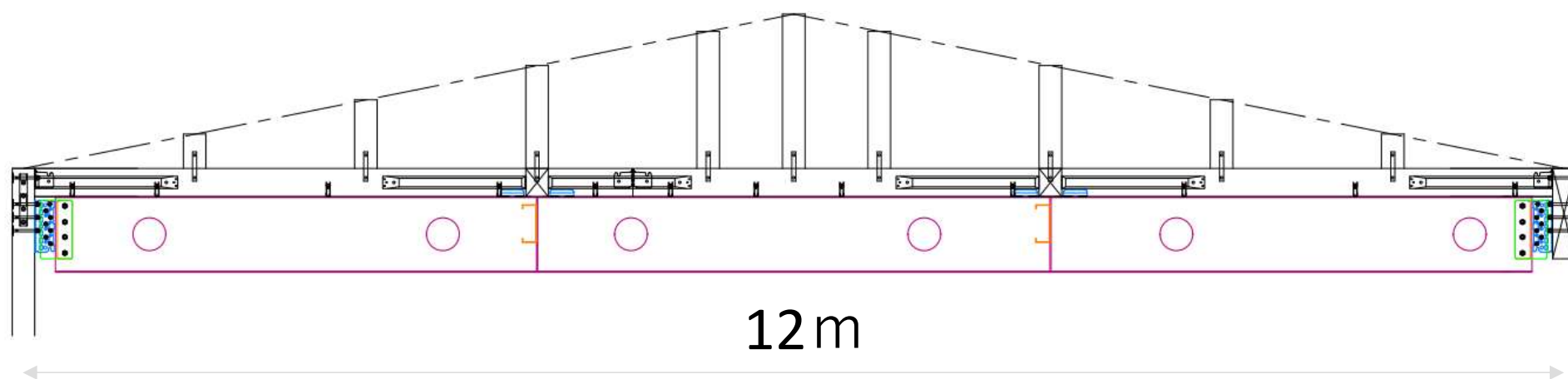


軽量H形鋼



ローコストで最大12mのスパンを飛ばすことが可能

条件により **最大30%程度** のコストダウン



Tec-one

Next

-

Wood

Lightweight

Steel

Hybrid method

Beam

TN:Tec-One Next(テックワンネクストシリーズ)

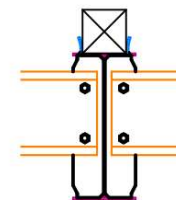
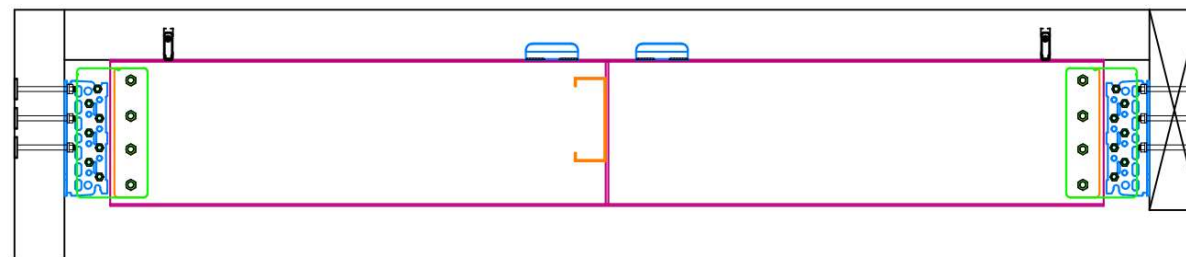
株式会社タツミが展開する
梁受金物「Tec-One」(テックワンシリーズ)の
「次のステージ」を目指すべく
多岐に渡る範囲で次世代型金物・工法を
展開するブランド

専用



WOLSH(ウォルシュ)

「木軸+軽量鋼ハイブリッド工法」の英訳の頭文字を取った造語
「適材適所」に鋼材製品を用いて木造建築物の合理化を提案する



意匠・構造・製造・施工あらゆる面の課題



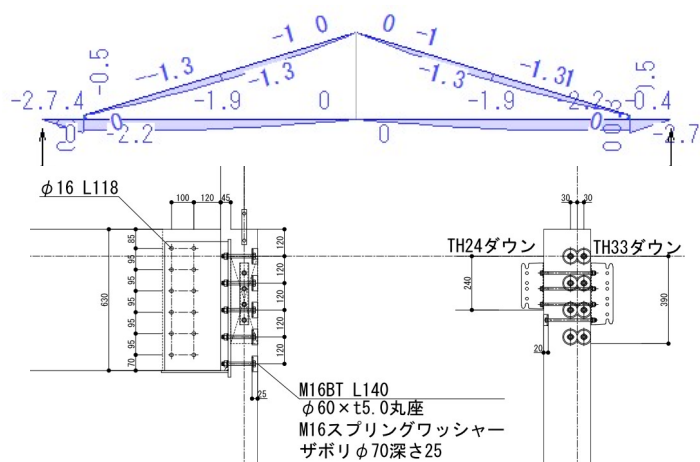
トラス



大断面集成材



製作金物



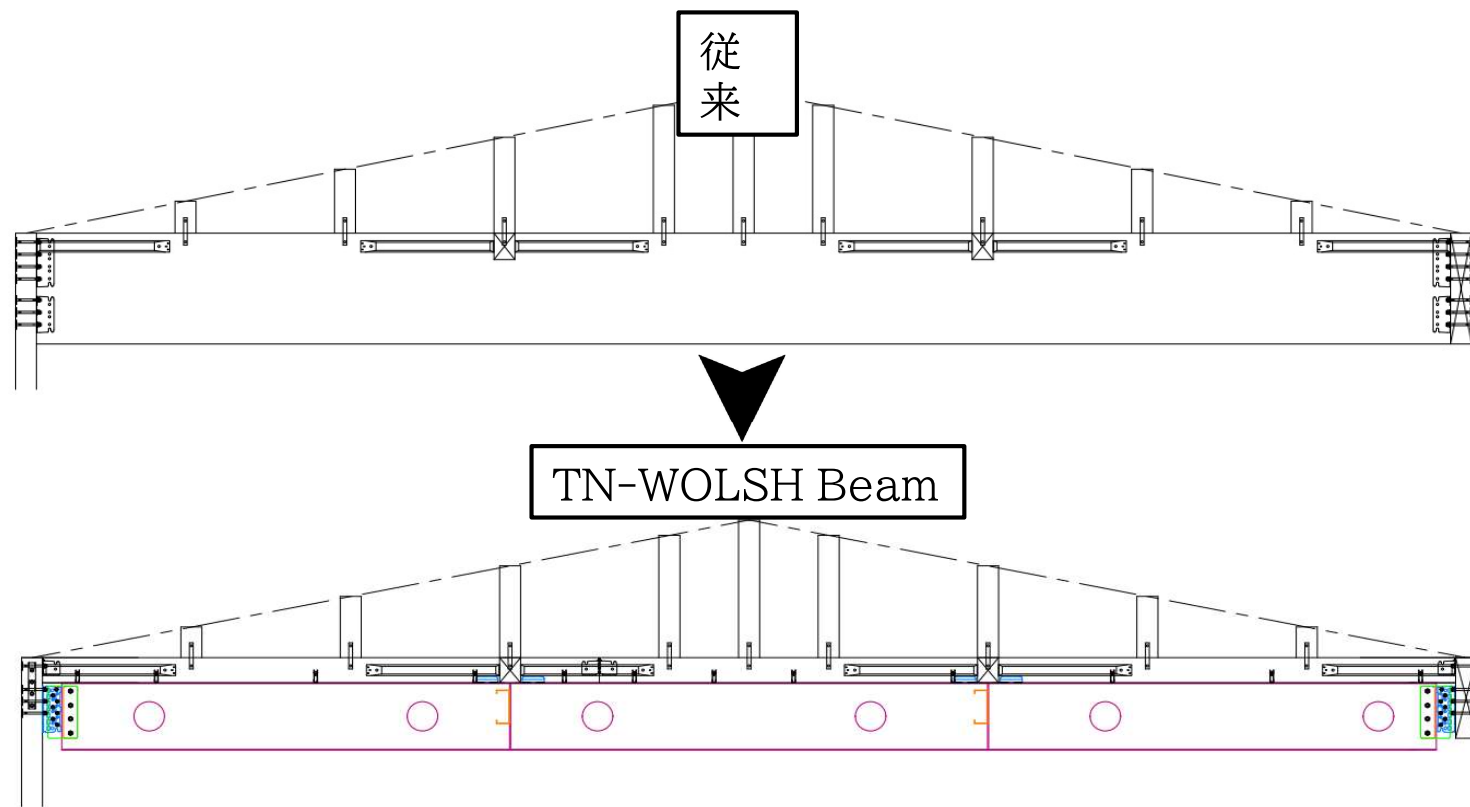
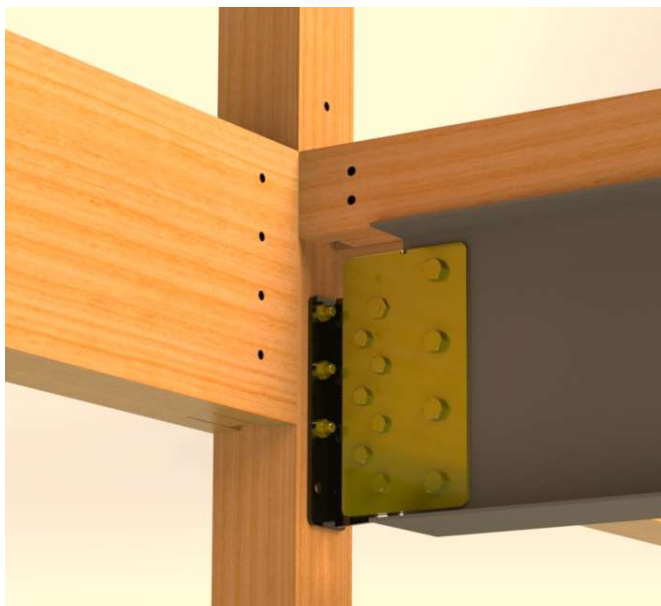
- ・ 特殊な設計が必要
- ・ 天井高等の制限
- ・ コスト高
- etc . . .



設計面・施工面・製造面において
様々なハードル

「合理的」な解決策として提案

大断面集成材やトラスに代わる第3の選択肢として



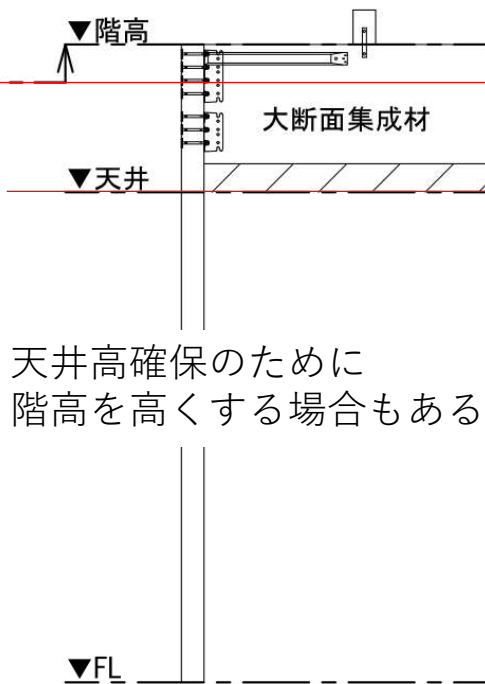
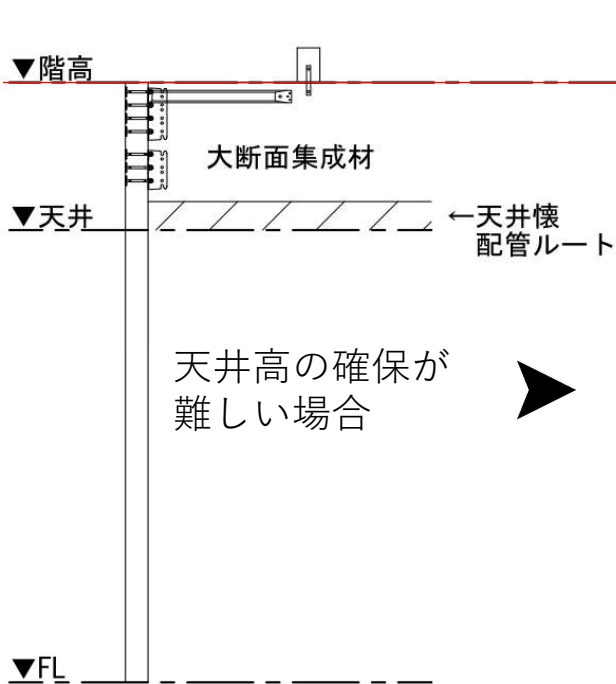
TN-WOLSH Beam (ティーエヌ ウォルシュビーム)

鋼製部材を「**適材適所**」に使用、専用ツールを取り揃えて検討期間の短縮やコストの削減に

■天井高・階高（意匠）

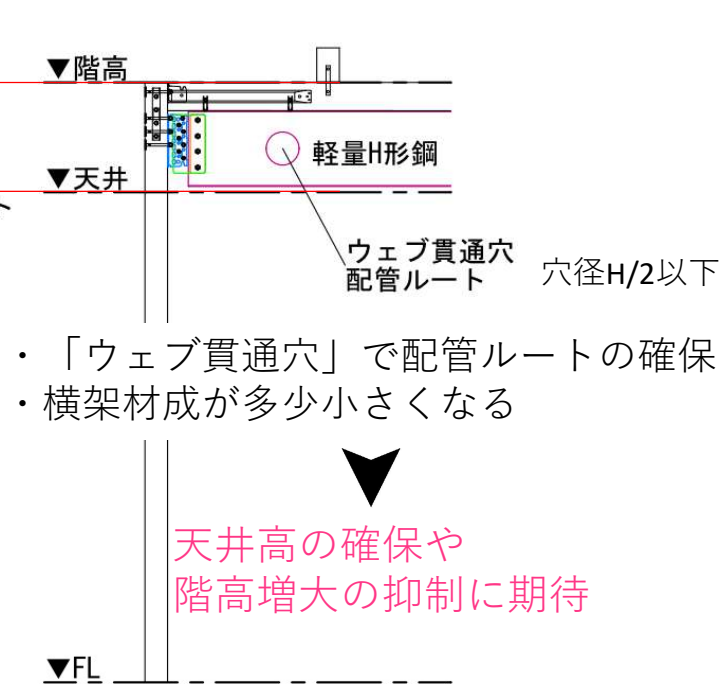
従来

- ・大断面集成材
→天井高が確保しづらく
場合により階高を調整



TN-WOLSH Beam

- ・横架材成の抑制とウェブ貫通穴の設置
→天井高の確保や
階高増大の抑制に期待



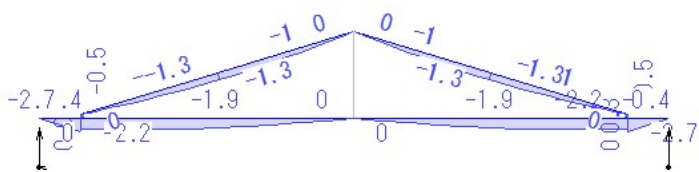
TN-WOLSH Beam (ティーエヌ ウォルシュビーム)

鋼製部材を「**適材適所**」に使用、専用ツールを取り揃えて検討期間の短縮やコストの削減に

■ 構造設計

従来

- トラスや製作金物
→設計に数時間

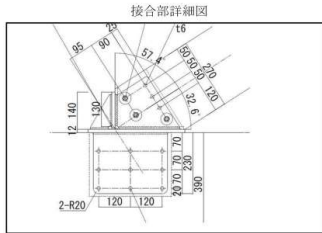


(1) 単位接合部の降伏せん断耐力の算定

$$P_y = C \cdot F_{e0} \cdot d \cdot l$$

接合形式: 2面せん断鋼板挿入
降伏モード: モードIII $C = 0.583$

$$P_y = 0.583 \times 19.4 \times 12 \times 96 = 13.02 \text{ kN}$$

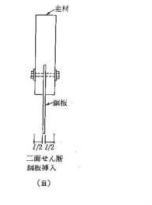


接合形式Cを求める算定式(最小値を採用)

モードI: 1
モードIII: $\sqrt{2 + \frac{8}{3} \left(\frac{d}{l}\right)^2} - 1$
モードIV: $\frac{d}{l} \sqrt{\frac{8}{3}}$

P_y : 単位接合部の降伏せん断耐力 (kN)
 C : 接合形式係数
 F_{e0} : 主材の基準支圧強度 (N/mm²)
 d : 接合具径 (mm)
 l : 主材の有効厚 (mm)

接合形式模式図



←応力解析ソフトを用いたトラスの設計

←木質構造設計規準・同解説 (日本建築学会) に則った接合部 (製作金物) の設計

TN-WOLSH Beam

- 専用の検定シートを用意
→設計に数分~十数分

TN-WOLSH Beam 断面・接合部検定シート 条件入力シート

※検定シートについては設計者様の責任においてご使用ください。
※色のセルに数値等を入力してください。
※種別の特長は別シート印刷用 参考ください。
※資料として使用する際は別シート印刷用 参考印刷してください。

■検定方針

- 本工法で使用する軽鋼材形鋼は、建築基準法施行令第47条(「鉄骨梁」)に位置付けるために、鉛直荷重のみを負担するものとし、水平力および耐力壁からの変曲力は負担しないものとする。
- 「軽鋼材形鋼」および「軽鋼材形鋼端部接合部」の検定に用いる設計力は、構造計算ソフトに組み込まれた木造の計算結果の値を利用する。なお、採用する値は配属される軽鋼材形鋼の中で最も設計応力が大きいものとする。その設計応力を用いて検定を行う。
- 「補剛材」および「補剛材端部接合部」の検定に用いる設計力は、軽鋼材形鋼(TWB4520)に使用される場合が最も応力が大きくなるので、その値を採用する。その設計応力を用いて検定を行う。
- 「軽鋼材形鋼-上載梁接合部」の上載梁接合部は、接合面に作用する軸上力および主材材から軽鋼材形鋼に伝達される負荷を伴っている。主材材の引張力が伝達されるため、主材材の引張力より上載梁接合部プレートの接合耐力が上回っていることを確認する。採用する値は主材材の引張力と、軽鋼材形鋼の接合耐力の最大値を用いて検定される単位面積当たりの風圧力から算出する。なお、本工法を採る場合は軸上力が伝達されないの検定は行わない。
- 補剛材による補剛力を発揮させるためには、軽鋼材形鋼が集中耐力(必要補剛力)に対して、水平方向に動かないようにする必要がある。位置を保持(補剛力保持)するために木造水平構造面を活用することとする。木造水平構造面を構成する土台等と上載梁(軽鋼材形鋼)を補剛力保持プレートで水平方向に対して拘束し、集中耐力方向に対して位置を保持させる。この補剛力保持プレートの接合耐力が集中耐力より大きいことを確認する。
- 本検定シートは「TN-WOLSH Beam工法」に関する部材、接合部のみを検定し、それ以外の部材および接合部の検定は行わない。

■検定結果一覧

検定項目	判定	頁
軽鋼材形鋼の断面検定	OK	3
軽鋼材形鋼端部「TNシリーズ受金物」のせん断検定	OK	8
軽鋼材形鋼端部「M16ボルト」の検定	OK	9
補剛材の断面検定	OK	10
補剛材の剛性の確認	OK	14
補剛材端部「TN-multi-TMA18-90補剛材用途金物本体」のせん断検定	OK	15
補剛材端部「TN-multi-TMA18-90補剛材用途側M16ボルト」の検定	OK	16
補剛材端部「スチフナー側M16ボルト」の検定	OK	17
ガゼットプレート(スチフナー)の断面検定	OK	18
軽鋼材形鋼-上載梁接合部「補剛力保持プレート」の検定	OK	19
集中耐力に対する木造水平構造面の確認	OK	20
軽鋼材形鋼-上載梁接合部「上載梁接合部プレート」の検定	OK	21
※接合部の低減係数αについて		22

※α: 木梁径 (mm)

※曲げ応力単位変換

	Ncm	Nmm
長期	1130248	11302480
中長期	3409142	34091420
中短期	4324082	43240820

※寸法効果係数算出式

$$k_2 = \left(\frac{300}{h}\right)^{0.16}$$

■軽鋼材形鋼の断面検定

●構造計算ソフトで設定した木梁の条件および各応力 ※最も条件が厳しいもの

スパン	6000 mm
断面	105 mm × 540 mm
仕様	ベイツ集成材 E120-F330
強度等級	E120-F330
断面削減係数	断面削減率α ₁ 0.75
ヤング係数	12000 N/mm ²
最大曲げ応力	長期 1273330 Nmm 中長期 34091420 Nmm 中短期 43240820 Nmm
最大せん断力	長期 6.8 kN 中長期 16.6 kN 中短期 20.8 kN
最大たわみ量	長期 8.37 mm 中長期 10.91 mm 中短期 13.79 mm

■軽鋼材鋼本体重量 261.2 kg → 2612 N
加算荷重分布両室 0.44 N/mm(kN/m) ← 構造計算ソフトに左記数値以上を加算

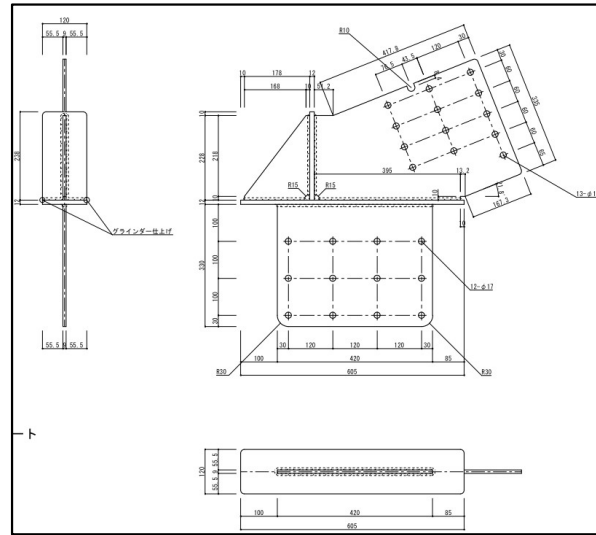
TN-WOLSH Beam (ティーエヌ ウォルシュビーム)

鋼製部材を「**適材適所**」に使用、専用ツールを取り揃えて検討期間の短縮やコストの削減に

■製造

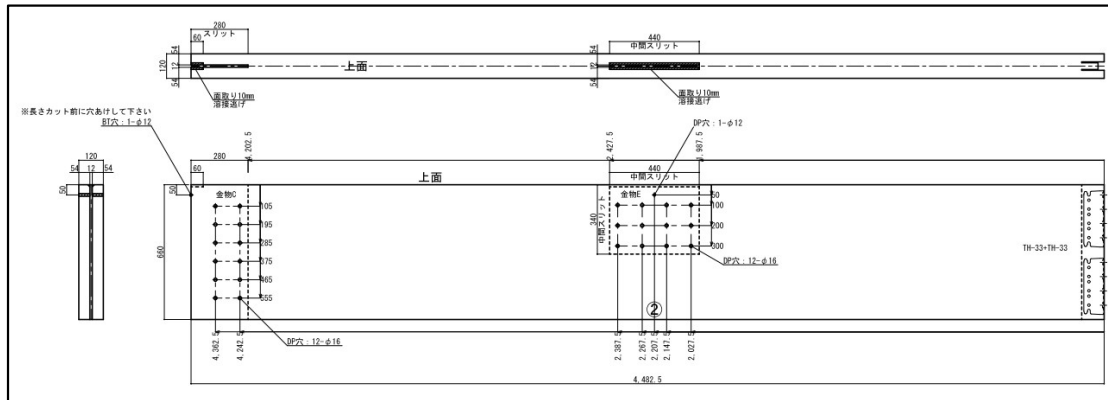
従来

- ・製作金物
→金物図の作成が必要
- ・木材加工
→特殊加工が必要



TN-WOLSH Beam

- ・既製品の金物を使用
→金物図作成不要
- ・木材加工
→既製品の金物と
同一の加工形状にして
シンプルに



TN-33

板厚 6mm
各種耐力 短期基準接合耐力 ・「step-4 接合耐力 他」参照
使用用途 梁仕口…対応梁幅 : 120mm以上 …対応梁せい : 330mm~ (420mm)
接合員 金物取り付け…M12中ボルト6本 ※MBまたはMZ45 (丸座φ45) 横架材取り付け…φ12ドリフトピン7本

※指し書き穴径はφ13

【仕口加工法】

【基本納まり】

※ボルト及びピン穴径はφ12

柱

（ノーマル穴）

（ダウン穴）

※ボルト及びピン穴径はφ12

鋼製部材を「**適材適所**」に使用、専用ツールを取り揃えて検討期間の短縮やコストの削減に

■施工

従来

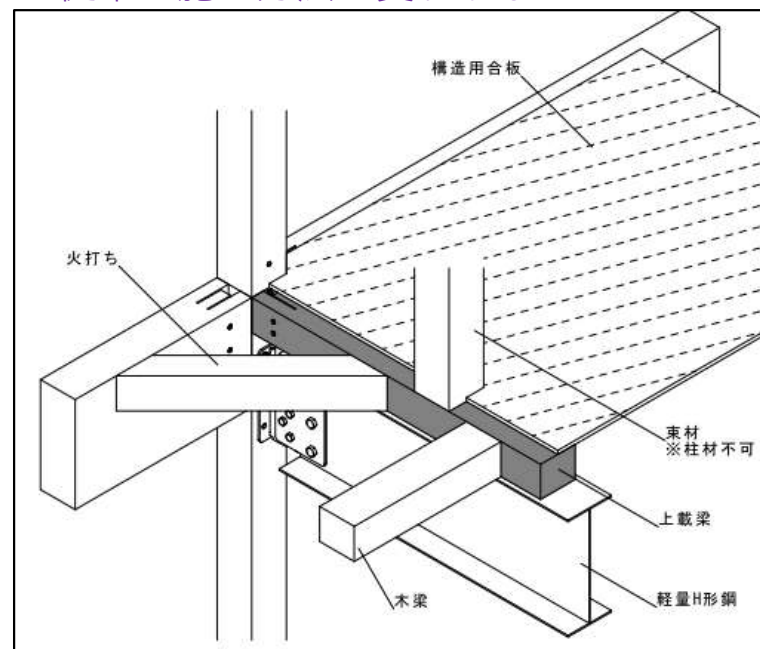
- ・木造に鉄骨梁がある計画
→構造用合板や火打ちが
通常に取り付けられない



※例：構造用合板を
釘打ちではなく
ビス打ちする

TN-WOLSH Beam

- ・軽量H形鋼の上に木梁を配置（上載梁）
→木束・構造用合板・火打ちなどが
上載梁に取り付くので
従来の施工方法と変わらない



従来

■天井高・階高（意匠）

- ・大断面集成材
→天井高が確保しづらく
場合により階高を調整

■構造設計

- ・トラスや製作金物
→設計に数時間

■製造

- ・製作金物
→金物図の作成が必要
- ・木材加工
→特殊加工が必要

■施工

- ・木造に鉄骨梁がある計画
→構造用合板や火打ちが
通常に取り付けられない

TN-WOLSH Beam

- ・横架材成の抑制とウェブ貫通穴の設置
→天井高の確保や
階高増大の抑制に期待

- ・専用の検定シートを用意
→設計に数分～数十分

- ・既製品の金物を使用
→金物図作成不要
- ・木材加工
→既製品の金物と同一の
加工形状にしてシンプルに

- ・軽量H形鋼の上に木梁を配置（上載梁）
→木束・構造用合板・火打ちなどが
上載梁に取り付くので
従来の施工方法と変わらない

その他に

- ・専用のオーダーシートによる
加工指示と自動金物積算によって
発注手間の削減とサポート

TN-WOLSH Beam		見積依頼	株式会社タツミ 住宅資材営業部
オーダーシート		発注依頼	新潟県見附市芝野町1232-1
			TEL: 0258-66-5515 FAX: 0258-66-5515
		受付番号	230406-1
オーダー日	2023 年 4 月 6 日		
会社名	タツミ	ご担当者名	様
会社住所	新潟県	TEL	FAX
現場名	工場		

- ・発注から納品までの期間が
大断面集成材と同等の
1～1.5か月であるので
従来の工程から外れにくい

意匠・構造・製造・施工

あらゆる面の課題

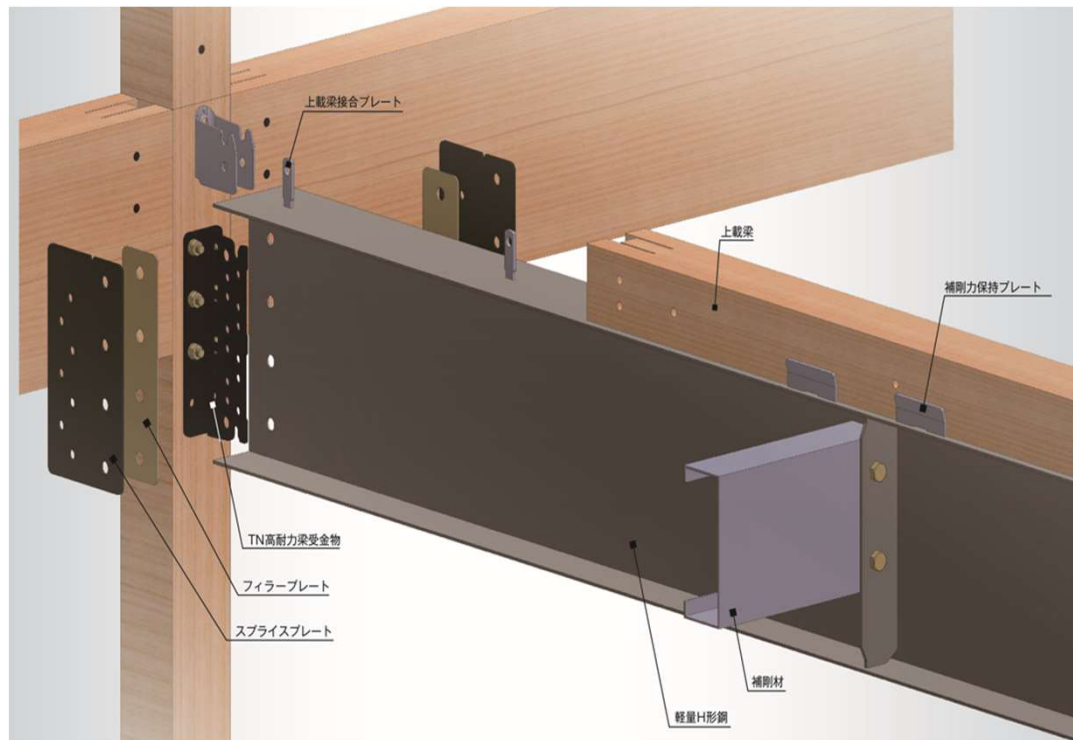


「合理的」な解決策として提案

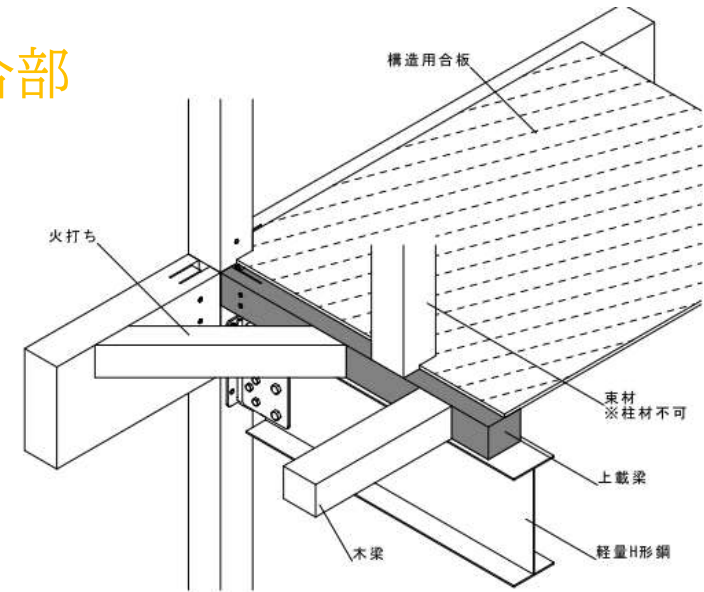
TN-WOLSH Beam (ティーエヌ ウォルシュ ビーム)

軽量H形鋼梁・・・溶接軽量H形鋼
 既製品梁受金物・・・TN高耐力梁受金物
 TN-multi：補剛材受用途

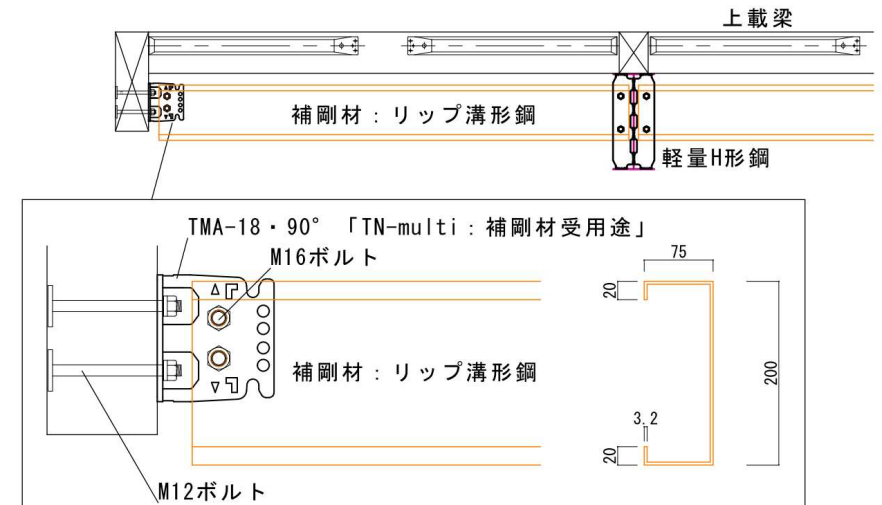
木部-軽量H形鋼接合部



上載梁接合部



補剛材接合部



●木部-軽量H形鋼接合部

- ・ TWB3515 350 × 150 × t3.2 × t4.5
- ・ TWB4020 400 × 200 × t4.5 × t6.0
- ・ TWB4520 450 × 200 × t4.5 × t9.0

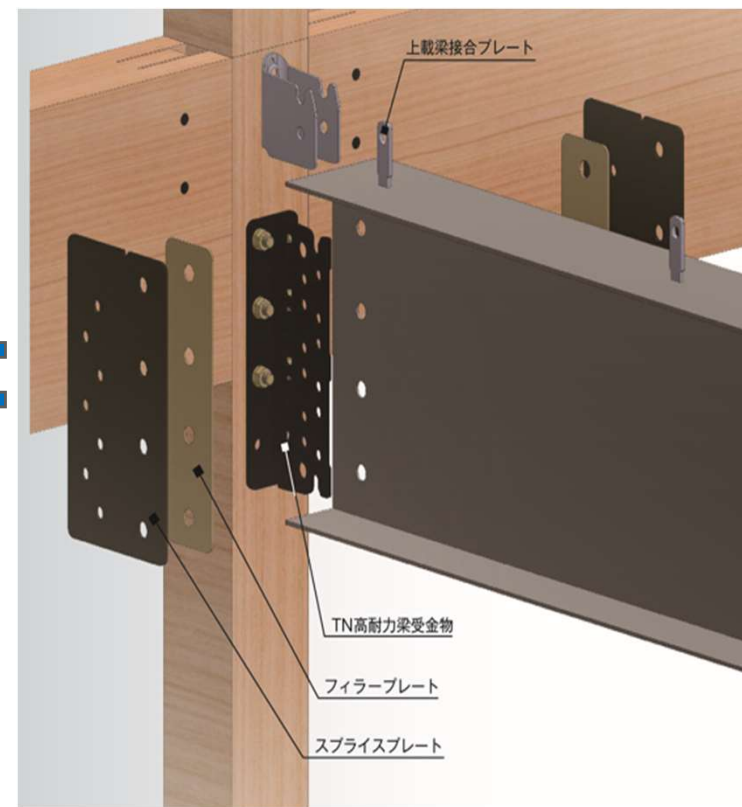
木造軸組



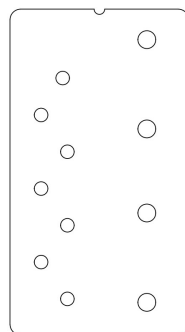
軽量H形鋼



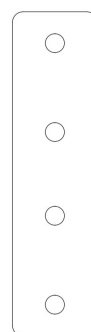
木軸と軽量H形鋼を接合



TN高耐力梁受金物



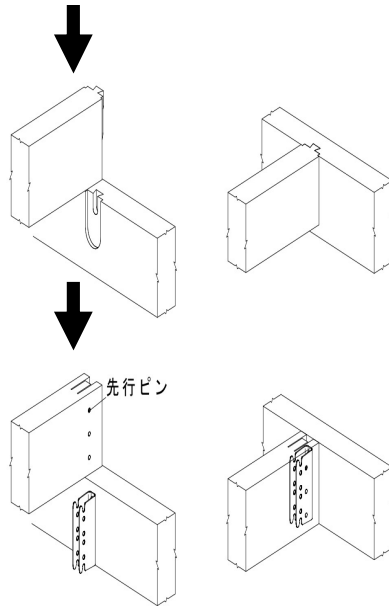
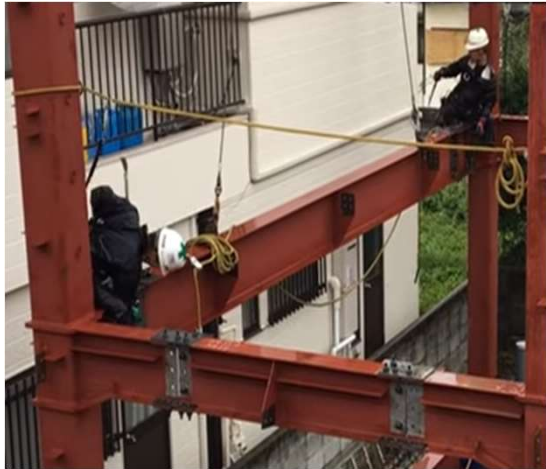
スプライスプレート



フィラープレート

- ・ プレートを使用して
軽量H形鋼と既製品の梁受金物を接合する
シンプルな構成

●木部-軽量H形鋼接合部

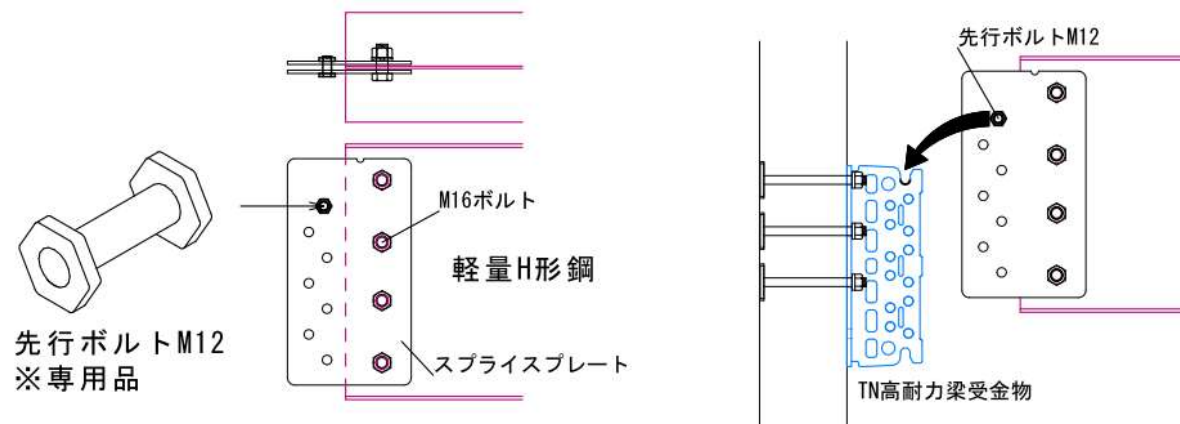


S造での梁の掛け方
→梁の高さを維持しながら
ボルトを差し込む

木造での梁の掛け方
→梁を落とし込む

施工方法に違い

TN-WOLSH Beam



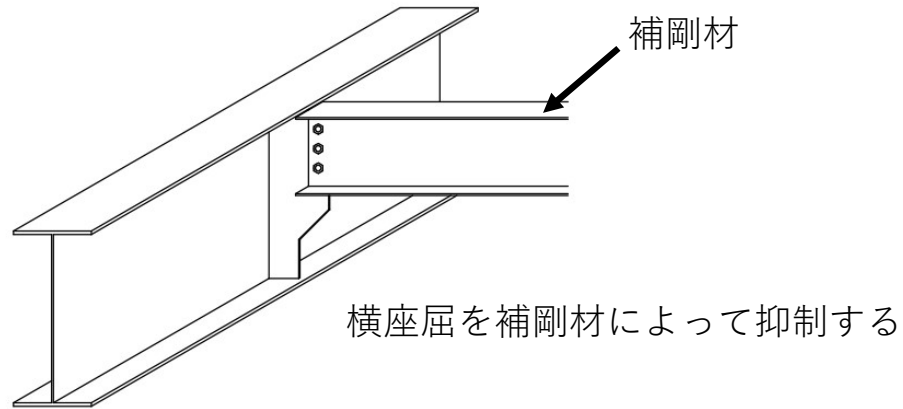
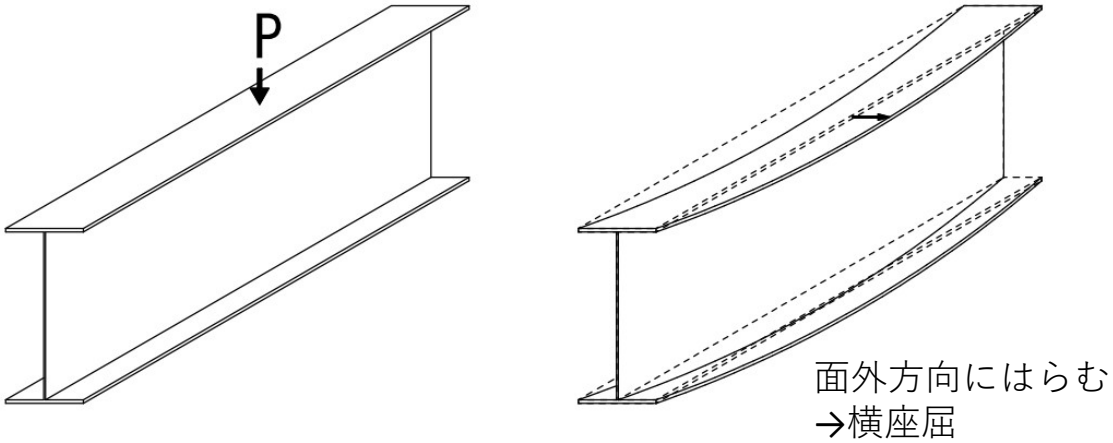
- ・スプライスプレートに「先行ボルトM12」をあらかじめ取り付ける
- ・「先行ボルトM12」を「TN高耐力梁受金物」に引っ掛けるように落とし込む
- ・ボルトの接合は摩擦接合とせず支圧接合

従来の木造の施工方法と
できるだけ変わらないようにした

TN-WOLSH Beam (ティーンエヌ ウォルシュ ビーム)

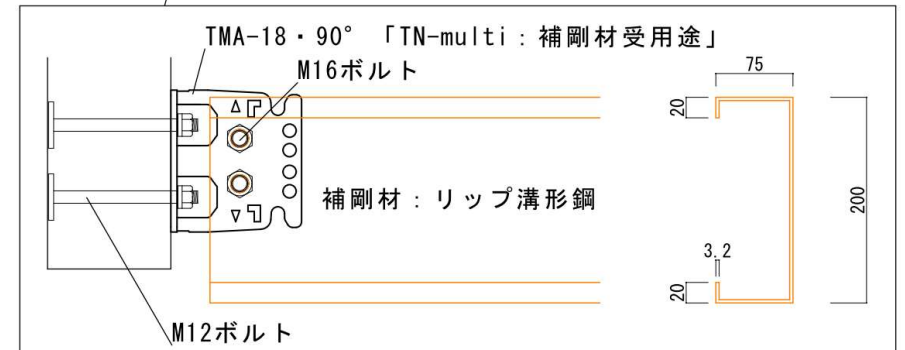
●補剛材接合部

補剛材・・・横座屈を抑制する部材



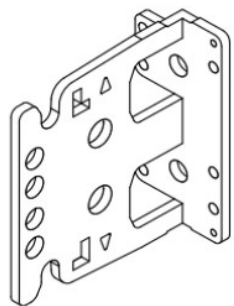
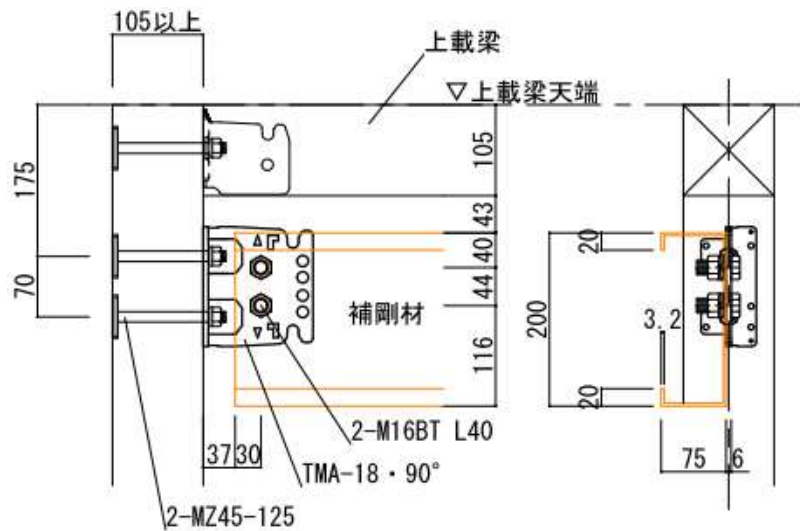
TN-WOLSH Beam

補剛材・・・リップ溝形鋼「 $200 \times 75 \times 20 \times t3.2$ 」
1種類のみ

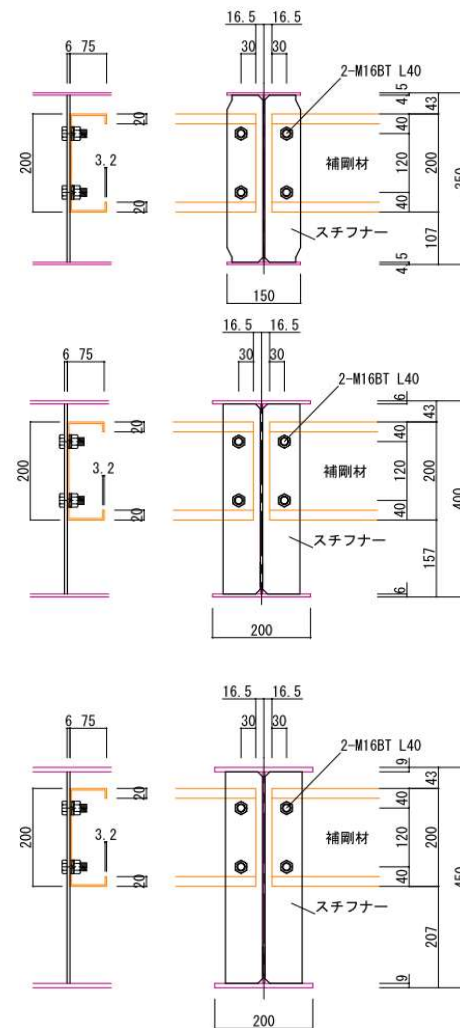


●補剛材接合部

補剛材・・・リップ溝形鋼「 $200 \times 75 \times 20 \times t3.2$ 」



既製品「TN-multi：補剛材受用途」
 →木材加工がシンプル
 →既製品採用によるコストUP抑制



軽量H形鋼：断面3種類

- ・ TWB3515 $350 \times 150 \times t3.2 \times t4.5$
- ・ TWB4020 $400 \times 200 \times t4.5 \times t6.0$
- ・ TWB4520 $450 \times 200 \times t4.5 \times t9.0$

- ・ 軽量H形鋼の断面サイズ問わず
リップ溝形鋼の断面・接合方法を統一
→取付間違いの防止
- ・ ボルトは支圧接合
→木造の施工方法と同様

上載梁

従来の方法

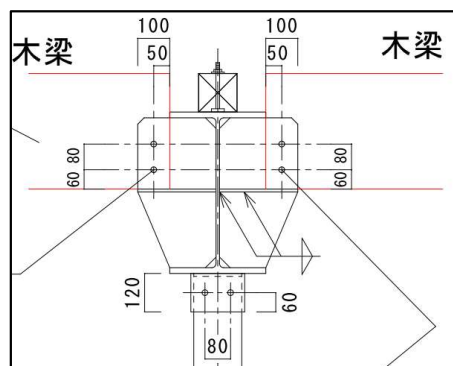
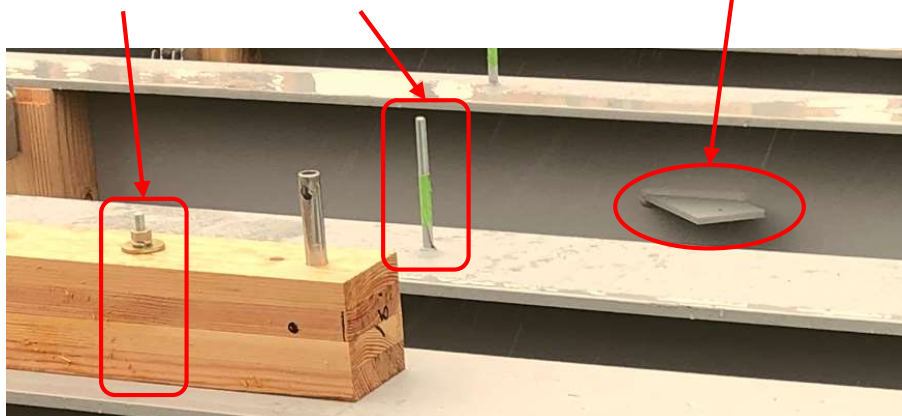
木梁固定用アンカー

→木梁成によって長さが変わる

→溶接逃げのために木梁下端にザボリが必要

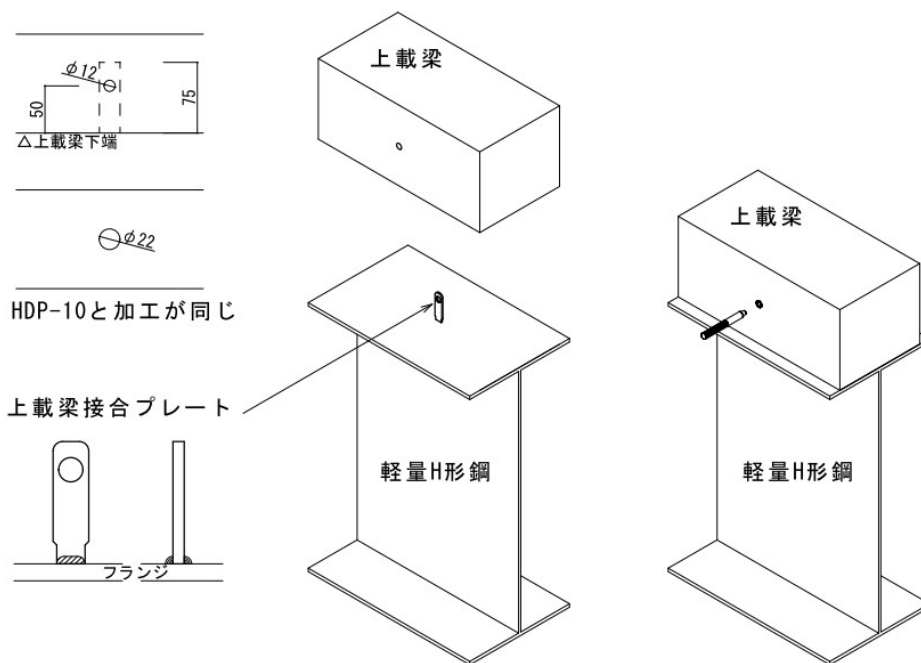
木製火打ち取付用ガセット

→特殊加工が必要



木梁端部とガセットの接合
→特殊加工が必要

●上載梁と軽量H形鋼との接合: 上載梁接合プレート



- ・既製品の金物と加工位置が同じ
- ・上載梁成が変わっても加工形状が変わらない
- ・固定用アンカーでなくドリフトピンでの接合

上載梁

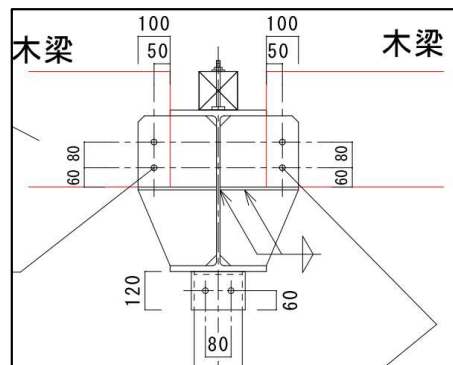
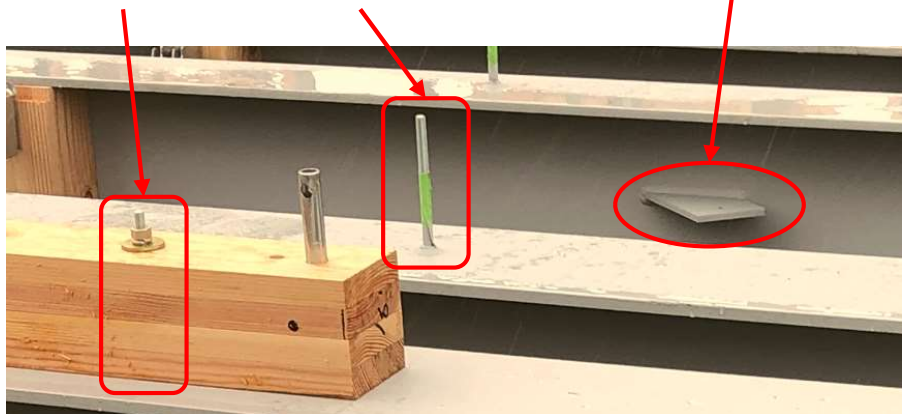
従来の方法

木梁固定用アンカー

→木梁成によって長さが変わる
→溶接逃げのために木梁下端に
ザボリが必要

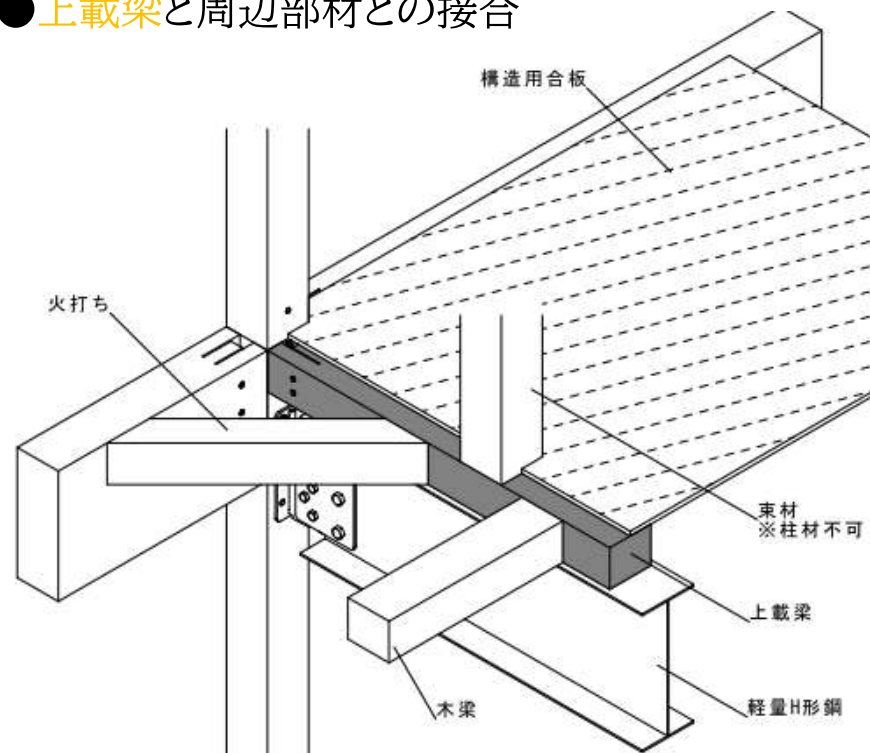
木製火打ち取付用ガセット

→特殊加工が必要



木梁端部とガセットの接合
→特殊加工が必要

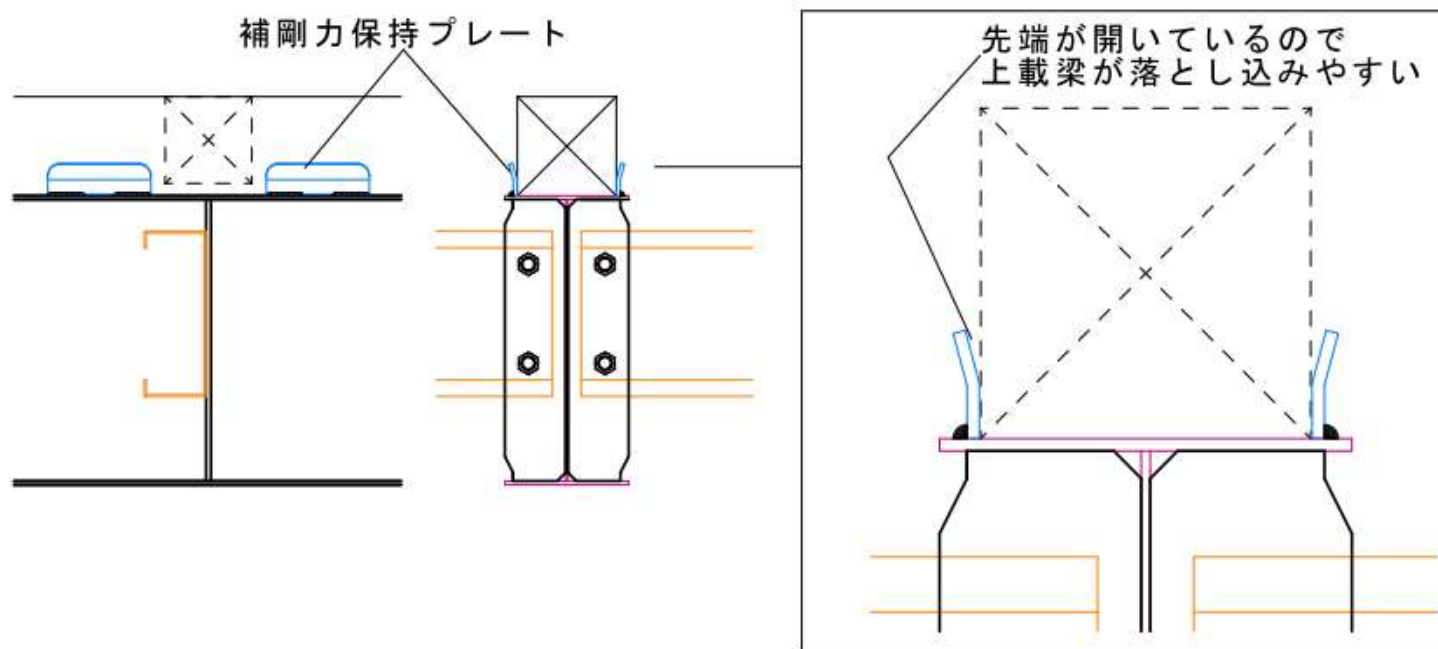
●上載梁と周辺部材との接合



- 上載梁によって「木-木接合」となるため従来の加工、施工と同じ
- 補剛材を別機構にしているので必要な木梁を軽量H形鋼に取り付ける必要がない
→必要な木梁は上載梁に取り付くので従来の加工、施工と同じ

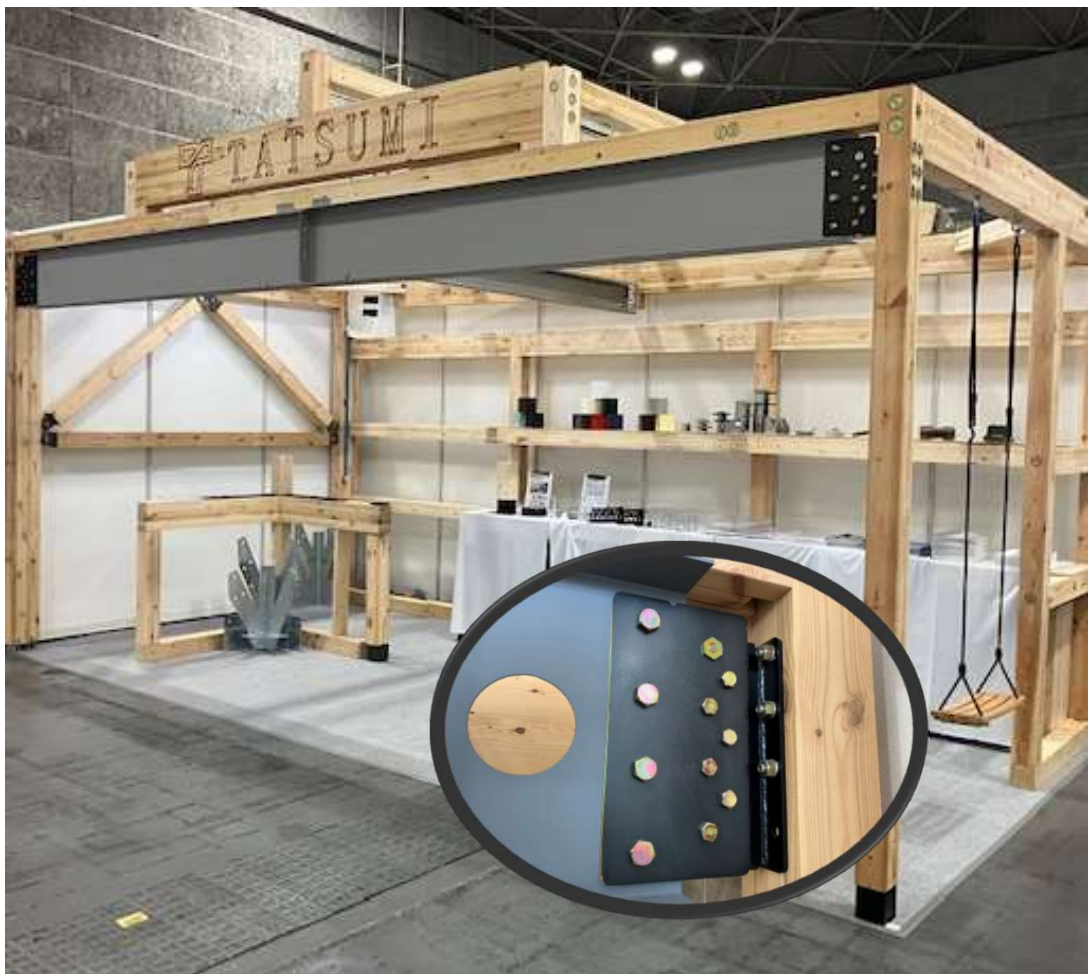
●必要補剛力 → 上載梁(補剛力保持プレート) → 木部水平構面

補剛材が安定的に補剛効果を発揮する必要があるので
必要な補剛力を木部水平構面に担保させるために
「補剛力保持プレート」を配置



TN-WOLSH Beam (ティーエヌ ウォルシュ ビーム)

●TN-WOLSH Beam - 納まりイメージ



■法的な位置づけ

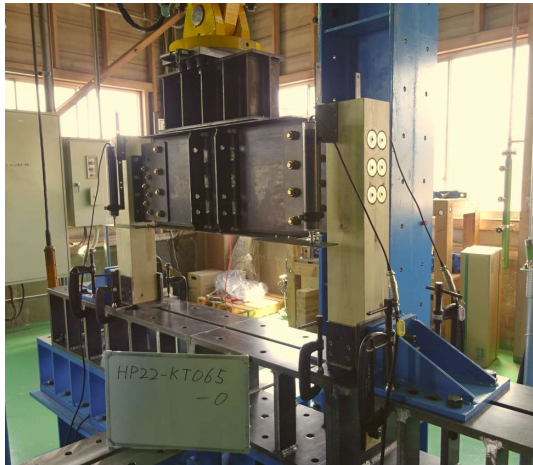
- ・建築基準法施行令第47条1項に記載のある「鉄骨の横架材」に該当することを想定
→鉛直荷重のみを負担する横架材（耐力壁からの変動軸力を負担することがない）であれば、併用構造（混構造）とならないと考えられる
※併用構造と判断される可能性もあるため、設計前に建築主事や確認申請機関に相談することを推奨

■接合耐力値

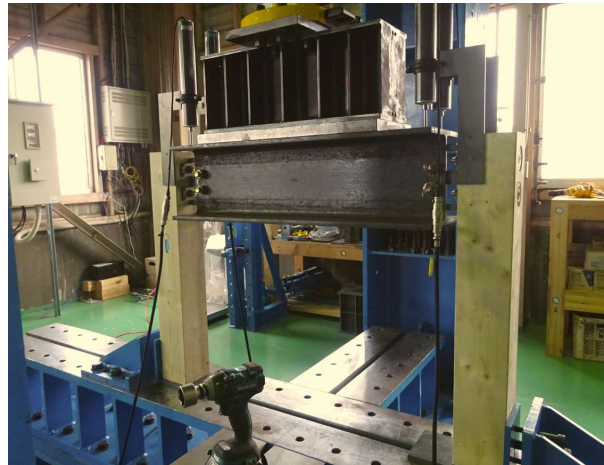
- ・木部-軽量H形鋼接合部
- ・木部-補剛材接合部
- ・上載梁接合部（上載梁接合プレート）

性能確認試験で接合耐力値を明確化

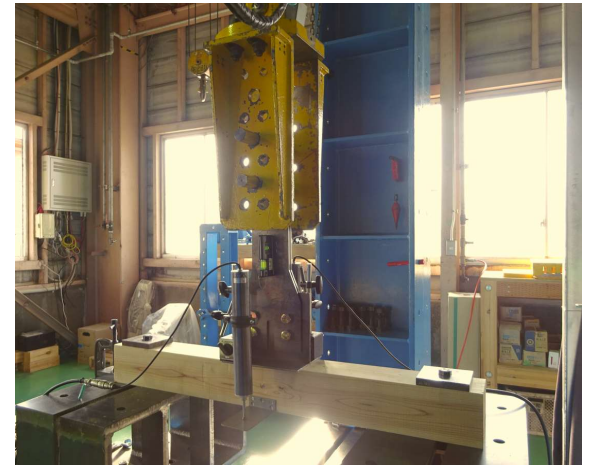
※その他の接合耐力は設計式から算出



木部-軽量H形鋼接合部せん断試験



木部-補剛材接合部せん断試験



上載梁接合プレート引張試験

■適用範囲・規格等 (一例)

●軽量H形鋼

- ・断面サイズ3種類・最長12m・間隔455~4000mm

●補剛材 (リップ溝形鋼)

- ・断面サイズ1種類・最長4m・間隔5m以内に1箇所必ず配置

●上載梁

- ・梁幅105または120mm・適用樹種杉KD無等級材以上
- ・上載梁成は必ず統一

Tec-One Next
テックワンネクストシリーズ

TN-WOLSH Beam

ティーエヌ ウォルシュ ビーム

技術資料

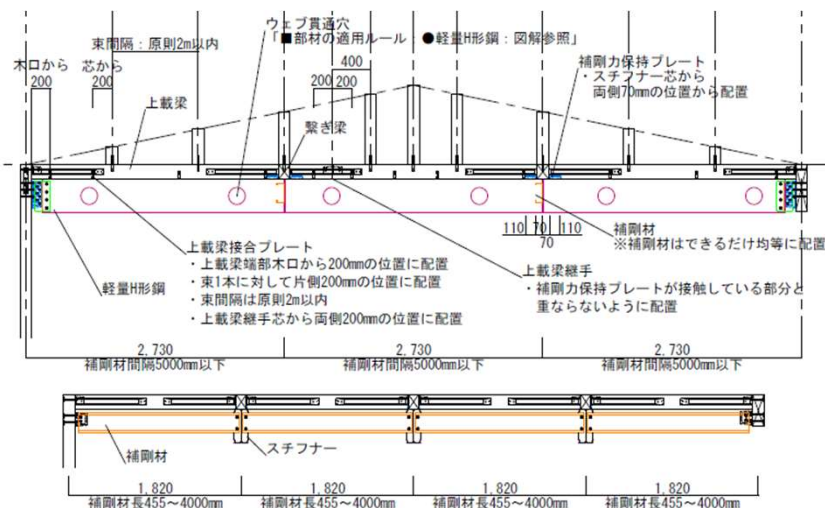
2023年8月版

TN-WOLSH工法

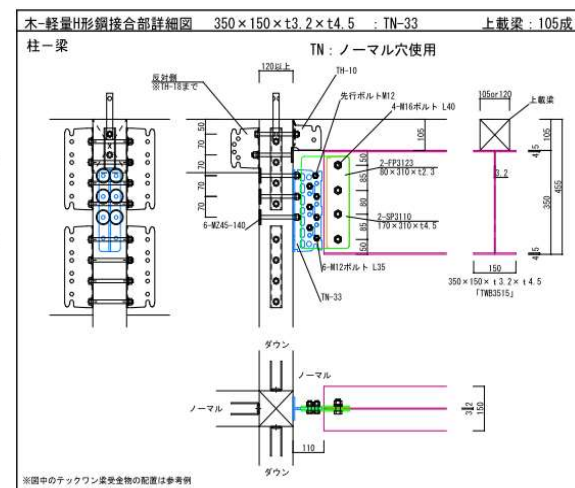
Tec-One Next Wood-Jehtaweiseit Steel Hybrid method

株式会社タツミ

■配置例



■接合詳細



Tec-One Next
テックワンネクストシリーズ

TN-WOLSH Beam

技術資料

2023年4月版

TN-WOLSH工法

Tec-One Next Wood-Lightweight Steel Hybrid method

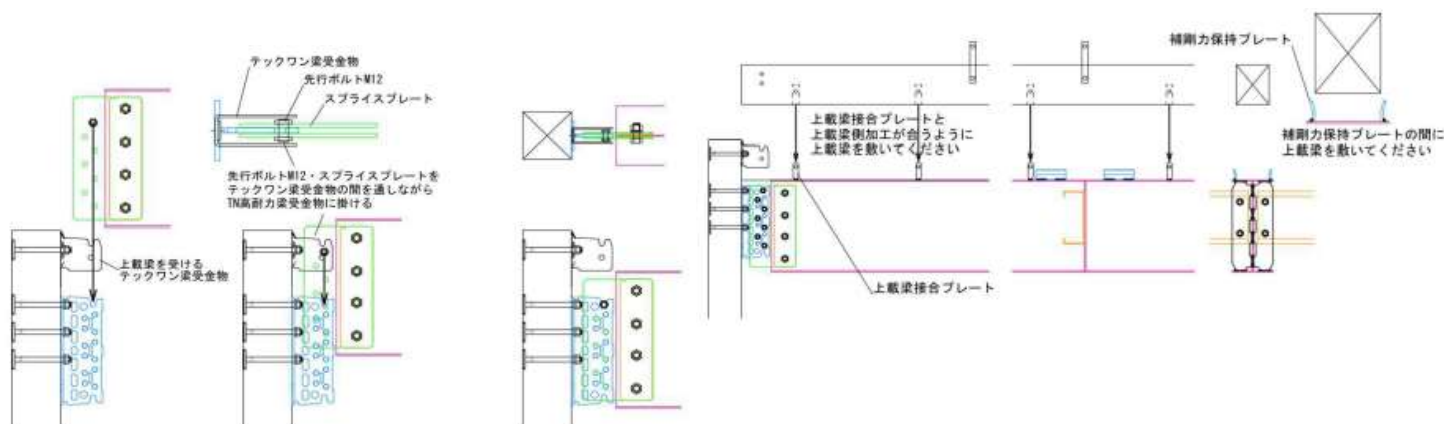
株式会社タツミ

■ 接合耐力 (一例)

● 木部-軽量H形鋼接合部：TN高耐力梁受金物接合部

軽量H形鋼	TN高耐力梁受金物	接合形式	基準せん断耐力 (kN)			
			短期	中短期	中長期	長期
TWB3515	TN-33	柱-梁	64.6	51.6	46.1	35.5
		梁-梁	62.3	49.8	44.5	34.2
TWB4020	TN-33	柱-梁	64.6	51.6	46.1	35.5
		梁-梁	62.3	49.8	44.5	34.2
TWB4520	TN-24+18	柱-梁	83.5	66.8	59.7	45.9
		梁-梁	78.9	63.1	56.4	43.3

■ 施工方法 (一例)



TN-WOLSH Beam (ティーエヌ ウォルシュビーム)

TN-WOLSH Beam 断面・接合部検定シート 条件入力シート

- ※検定シートの使用については設計者御用事でご使用ください。
- ※色のセルに数値等を入力してください。
- ※検討の詳細は別シート「印刷用」を参照ください。
- ※資料として使用する際は印刷は別シート「印刷用」を印刷してください。

■名称

建物名称 :

会社名 :

設計者 :

用途 : 小屋梁

■構造計算ソフトで設定している固定荷重に加算する軽量H鋼の固定荷重(自重)

品番

スパン 6000 mm

軽量H形鋼本体重量 261.2 kg → 2612 N

加算用等分布荷重 **0.44** N/mm(kNm) ← 構造計算ソフトに左記数値以上を加算

■軽量H形鋼の断面検定

●構造計算ソフトで仮入力した木梁の条件および各応力 ※最も条件が厳しいもの

スパン	6000 mm	
断面	105 mm × 540 mm	
樹種	ベイマツ集成材	
強度等級	E120-F330	
断面係数	断面2次モーメント I_x	0.75
ヤング係数	12000	N/mm ²
最大曲げ応力	長期	12723320 Nmm
	中長期	34091420 Nmm
	中短期	43240820 Nmm
最大せん断力	長期	6.8 kN
	中長期	16.6 kN
	中短期	20.8 kN
最大たわみ量	長期	8.37 mm
	中長期	10.91 mm
	中短期	13.79 mm

※曲げ応力単位変換

	Ncm	Nmm
長期	1130248	11302480
中長期	3409142	34091420
中短期	4324082	43240820

↑左表へ入力

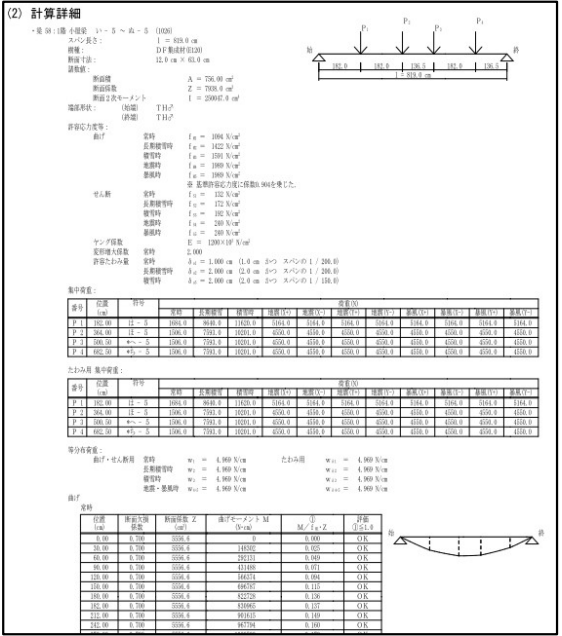
※寸法効果係数算出式

$$k_s = \left(\frac{300}{h}\right)^{0.25}$$

※h:木梁成(mm)

- ・建物全体の検討で使用している構造計算ソフトに軽量H形鋼を木梁として入力
- ・入力した木梁の「樹種」「断面」を入力
- ・長期、中長期、中短期の「曲げ応力」「せん断応力」「たわみ量」を入力

- ・左記数値を入力後エクセルでの自動計算・判定で結果がすぐにわかる
- ・印刷後、構造検討書として提出が可能



■検定結果一覧

検定項目	判定
軽量H形鋼の断面検定	OK
軽量H形鋼端部「TN高耐力梁受金物」のせん断検定	OK
軽量H形鋼端部「M16ボルト」の検定	OK
補剛材の断面検定	OK
補剛材の剛性の確認	OK
補剛材端部「TN-multi:TMA-18・90°補剛材用途金物本体」のせん断検定	OK
補剛材端部「TN-multi:TMA-18・90°補剛材用途側M16ボルト」の検定	OK
補剛材端部「スチフナー側M16ボルト」の検定	OK
ガセットプレート(スチフナー)の断面検定	OK
軽量H形鋼-上載梁接合部「補剛材保持プレート」の検定	OK
集中横力に対する木部水平構面の確認	OK
軽量H形鋼-上載梁接合部「上載梁接合プレート」の検定	OK

※接合部の低減係数 α について

TN-WOLSH Beam検定シート

TN-WOLSH Beam (ティーエヌ ウォルシュ ビーム)

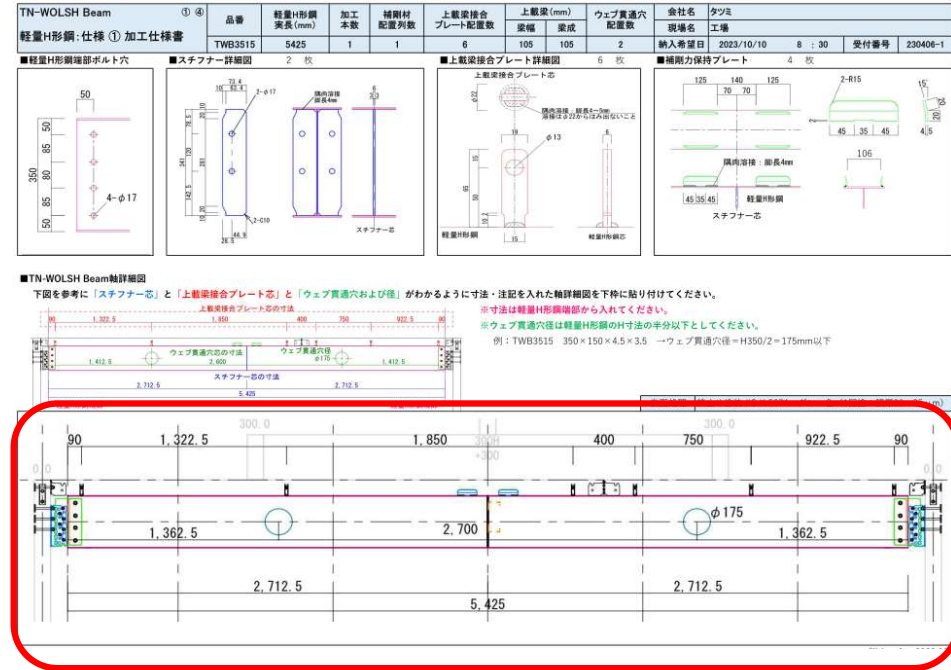
TN-WOLSH Beam オーダーシート		見積依頼	株式会社タツミ 住宅資材営業部 新潟県見附市芝野町1232-1						
		発注依頼	TEL: 0258-66-5515	FAX: 0258-66-5515					
			受付番号	230406-1					
オーダー日	2023 年 4 月 6 日								
会社名	タツミ	ご担当者名	様						
会社住所	新潟県	TEL		FAX					
現場名	工場								
■TN-WOLSH Beam【軽量H形鋼】注文数量 7種計 28本									
納入先住所	〒 -	宛先	様	連絡先					
納入希望日	2023 年 10 月 10 日	時間	8 : 30	トラック 平・ユニット					
※製造に1~1.5か月程度かかります ※発注時は現場案内図も添付ください ※10t車配送予定									
仕様	品番	断面サイズ (mm)	実長 (mm)	本数	補剛材 配置列数	上載梁 (mm)		上載梁 接合プレート 配置数	ウェブ貫通穴 配置数
						梁幅	梁成		
①	TWB3515	350×150×3.2×4.5	5425	1	1	105	105	6	2
②	TWB4020	400×200×4.5×6.0	7000	2	1			9	1
③	TWB4520	450×200×4.5×9.0	9000	3	2			12	2
④	TWB3515	350×150×3.2×4.5	6300	4	1			7	3
⑤	TWB4020	400×200×4.5×6.0	8000	5	2			8	4
⑥	TWB4520	450×200×4.5×9.0	10000	6	2			12	5
⑦	TWB4020	400×200×4.5×6.0	7300	7	2			8	6

諸条件を入力すると
使用する金物を積算

■TN-WOLSH Beam【接合金物・接合具】注文数量 230406-1

納入先住所	〒 -	宛先	様	
納入希望日	年 月 日			
受入金物	TN-18	18	個	※TN-18・24・33およびTMA-18・90の木材側で使用するM12ボルトは別途ご注文ください。
	TN-24	18	個	
	TN-33	38	個	
	TMA-18・90	10	個	
	SP3110	76	枚	
	SP3112	0	枚	
	SP3115	0	枚	
	SP3118	0	枚	
	SP3121	0	枚	
	SP3124	0	枚	
スライナプレート	SP4010	36	枚	
	SP4012	0	枚	
	SP4015	0	枚	
	SP4018	0	枚	
	SP4021	0	枚	
	SP4024	0	枚	
	FP3123	20	枚	
	FP3116	56	枚	
フィラープレート	FP40	36	枚	
	先行ボルトM12	56	本	
ボルト・ナット	先行ボルト用ナット	112	枚	
	M12×L35	372	本	
	M12バクトナット	372	個	
	M16×L40	310	本	
	M16バクトナット	310	個	

※上載梁接合プレートに使用するドリフトピンは別途ご注文ください。



寸法を入れた図面を添付するだけの加工指示
構造標準図をJWWで用意しておりますので
図面の作図も簡単に行えます。

TN-WOLSH Beamオーダーシート

Tec-One Next
テックワンネクストシリーズ

TN-WOLSH Beam

ティーエヌ ウォルシュ ビーム

技術資料

2023年4月版

TN-WOLSH工法

Tec-One Next Wood-Lightweight Steel Hybrid method

 株式会社タツミ

TN-WOLSH Beam 断面・接合部検定シート 条件入力シート

- ※検定シートの使用については設計者判断でご使用ください。
- ※色のセルに数値等を入力してください。
- ※検討の詳細は別シート「印刷用」を参照ください。
- ※資料として使用する際は印刷は別シート「印刷用」を印刷してください。

■名称

建物名称 :
 会社名 :
 設計者 :
 用途 : 小屋梁

■構造計算ソフトで設定している固定荷重に加算する軽量H形鋼の固定荷重(自重)

品番 TWB4520
 スパン 6000 mm
 軽量H形鋼本体重量 261.2 kg → 2612 N
 加算用等分布荷重 **0.44** N/mm(kNm) ← 構造計算ソフトに左記数値以上を加算

■軽量H形鋼の断面検定

- 構造計算ソフトで仮入力した木梁の条件および各応力 ※最も条件が厳しいもの

スパン	6000 mm	
断面	105 mm × 540 mm	
樹種	ベイマツ集成材	
強度等級	E120-F330	
断面係数	断面2次モーメント I_x	0.75
ヤング係数	12000	N/mm ²
最大曲げ応力	長期	12723320 Nmm
	中長期	34091420 Nmm
	中短期	43240820 Nmm
最大せん断力	長期	6.8 kN
	中長期	16.6 kN
	中短期	20.8 kN
最大たわみ量	長期	8.37 mm
	中長期	10.91 mm
	中短期	13.79 mm

※曲げ応力単位変換

	Ncm	Nmm
長期	1130248	→ 11302480
中長期	3409142	→ 34091420
中短期	4324082	→ 43240820

↑左表に入力

	kNm	Nmm
長期		→
中長期		→
中短期		→

↑左表に入力

※寸法効果係数算出式

$$k_2 = \left(\frac{300}{h} \right)^{0.436}$$

※h:木梁成(mm)

TN-WOLSH Beam		見積依頼	株式会社タツミ 住宅資材営業部
オーダーシート		発注依頼	新潟県見附市芝野町1232-1
			TEL:0258-66-5515 FAX:0258-66-5515
			受付番号 230406-1
オーダー日	2023年4月6日		
会社名	タツミ	ご担当者名	様
会社住所	新潟県	TEL	FAX
現場名	工場		

■TN-WOLSH Beam【軽量H形鋼】注文数量 7種計 28本

納入先住所	〒 - 宛先	棟	連絡先
納入希望日	2023年10月10日	時間 8:30	トラック 平・ユニック

※製造に1~1.5か月程度かかります ※発注時は現場案内図も添付ください ※10t車配送予定

仕様	品番	断面サイズ (mm)	実長 (mm)	本数	補剛材配置列数	上載梁 (mm)		上載梁接合プレート配置数	ウェブ貫通穴配置数
						梁幅	梁成		
①	TWB3515	350×150×3.2×4.5	5425	1	1	105	105	6	2
②	TWB4020	400×200×4.5×6.0	7000	2	1			9	1
③	TWB4520	450×200×4.5×9.0	9000	3	2			12	2
④	TWB3515	350×150×3.2×4.5	6300	4	1			7	3
⑤	TWB4020	400×200×4.5×6.0	8000	5	2			8	4
⑥	TWB4520	450×200×4.5×9.0	10000	6	2			12	5
⑦	TWB4020	400×200×4.5×6.0	7300	7	2			8	6

表面処理 錆止め塗装 JIS K 5674 グレー色 (1回塗:膜厚30~35μm)



※実長 = 通り芯間距離 - (通り芯から木材面までの距離① + 通り芯から木材面までの距離② + 110 × 2)

TN-WOLSH Beam技術資料

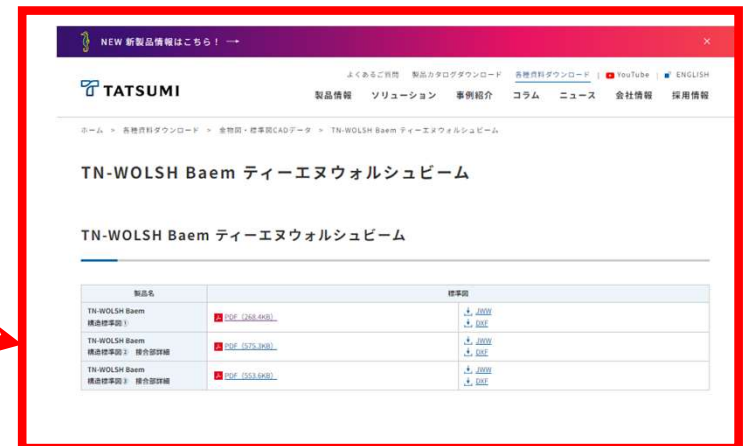
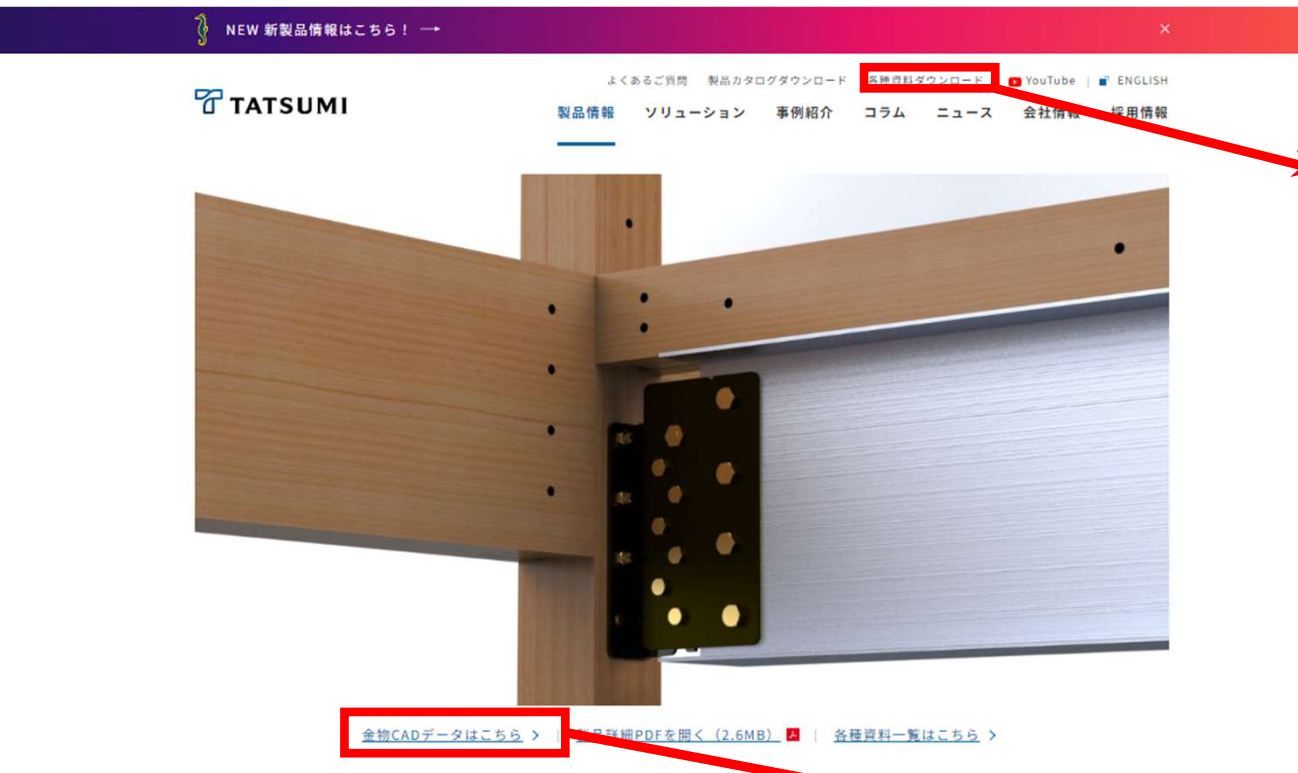
TN-WOLSH Beam検定シート

TN-WOLSH Beamオーダーシート

TN-WOLSH Beam (ティーエヌ ウォルシュ ビーム)

技術資料・検定シート・オーダーシート・詳細図は弊社ホームページよりダウンロードできます

《株式会社タツミ (tatsumi-web.com)》



商品や物件のご相談はお気軽にお問合わせ下さい。

住宅資材課

新潟県見附市芝野町1232-1

TEL:0258-66-5515

東京営業所

東京都中央区日本橋室町1-9-1日本橋室町ビル8F

TEL:03-6262-8743

名古屋営業所

愛知県名古屋市中区錦一丁目11-11 5階

TEL:052-202-0696

関西営業所

大阪府大阪市北区堂島1-1-25-305

TEL:06-6131-6130

